



斗賀野歴史街道散策コース

① あおぞら公園

あおぞら公園は、その整備の当初から「NPO法人とかの元気村」が関わって完成しており、現在も町から指定を受けて管理を続けている。各種イベントが催されたり、子どもたちの遊びの場となったりと、住民の憩いの場としてたくさんの方に利用されている。



② はちまん 八幡神社

斗賀野郷、尾川郷の代官であった米森玄蕃の城跡。二ノ部部落の氏神様であり、二ノ部部落北側の小高い山に鎮座している。「八幡神社の氏子が出兵した時、戦場で敵の弾が飛んできて、ダメかと思うと氏神様が真正面に立ち、弾がそれで命拾いをした」という逸話が残っている。



③ 親水公園

「NPO法人とかの元気村」では地域の川の保全・復元のためにさまざまな活動をしている。わき水があり、水質の良い伏尾川(姉ヶ瀬川)については、河川環境整備事業を導入して、近自然工法で施工した。完成後は水に親しめる公園として子どもたちの遊び場となり賑わっている。



※生態系の保全又は破壊されてしまった生態系を復元することを目的とした工法。

④ 地蔵菩薩

岩井口部落前の水田の中の小さな森(地蔵屋敷)に地蔵菩薩が鎮座している。「昔、近くの某所の神様と合祭することになり地元の有志が運んだが非常に重たく、その後部落にも不幸が続いたので元の位置に戻した。戻すときは軽く、その後は何事もなく平和が続いている」という逸話が残っている。



⑤ 岩井口遺跡

平成2年度に実施された佐川町斗賀野地区県営は場整備事業に伴う事前の試掘調査によって確認された遺跡である。

平成4・5年度の発掘調査により弥生時代の住居跡と中世の館跡が確認された。住居跡は竪穴住居で、まわりには排水のためと見られる周溝がめぐり、叩き目を持つ甕と小型の鉢が出土した。この土器から住居跡は弥生時代終末期のものと判断される。館跡は在地領主の屋敷跡と考えられ、南北朝時代から室町時代にかけての約200年間存続したとみられ、戦国期に入り廃絶している。



⑥ しらくら 白倉神社

およそ1000年以上前の平安時代、第63代天皇である冷泉天皇を御祭神として鎮祭したものである。元は白倉大明神と称したが、明治元年、社号改称の令により、白倉神社と改称される。

毎年11月12日に行われる例祭(神祭)では、伝統行事である「流鏝馬(やぶさめ)」や保存会による「花取り踊り」が奉納され、大勢の参拝客で賑わう。



ウォーキングマップに関するお問い合わせはこちら

佐川町ウォーキングで健康の輪をひろげよう事務局 TEL: 0889-22-7709 (佐川町健康福祉課内)